

令和8年度 第1回与謝野町総合計画審議会 会議報告書（要約版）

日時 令和8年5月19日(火) 19時00分～21時00分

場所 元気館 2階 農事研究室

出席者

委員（敬称略）

足立 英子委員	石倉 直記委員	尾上 亮介委員	川勝 健志委員
小山 富美代委員	○坂中 紀文委員	津波 璃生委員	中田 麻由美委員
樋口 潔委員	宮本 浩司委員	山添 謙三委員	大泉 珠希委員

欠席者

◎谷口 知弘委員	安達 幸三委員	味田 佳子委員	松田 政一委員
----------	---------	---------	---------

注）◎会長、○副会長

オブザーバー

高屋 秀 氏

町長

佐賀 利裕 町長

総合計画策定委員会

井上副町長	長島教育長	教育委員会 柴田次長	総務課 市田課長
総務課 財産活用・契約室 引野室長	総務課 防災危機管理対策室 中田室長	産業観光課 小室課長	会計課 杉本課長
農林環境課 三田課長	農林環境課 地球温暖化対策室 和田室長	保健課 大上課長	建設課 細井課長
福祉課 矢野課長	学校教育課 小谷課長	社会教育課 大江課長	子育て応援課 堀場課長
議会事務局 谷口局長	住民税務課 堀口課長		

事務局等

企画財政課 廣瀬課長	企画財政課 井崎補佐	企画財政課 井上補佐	企画財政課 渡邊係長
企画財政課 松本係長			

傍聴者 5名

会議の日程

開会

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 町長あいさつ
4. 新オブザーバーの紹介
5. 議事
 - (1) 第3次与謝野町総合計画基本構想の中間答申案について
 - (2) その他
 - ①今後のスケジュール
6. 閉会（副会長あいさつ）

会議の経過

1. 開会

- ・事務局（企画財政課主幹）の司会で開会した。

2. 会長あいさつ

- ・会長欠席のため割愛

3. 町長あいさつ

- ・町長よりあいさつ

4. 新オブザーバーの紹介

- ・事務局より京都府丹後広域振興局の地域連携部長 高屋オブザーバーの紹介

5. 議事

- (1) 第3次与謝野町総合計画基本構想の中間答申案について

【事務局より資料1、2について説明】

【A・B・C班に分かれてグループワーク実施】

【A グループ意見】

- ・将来像の「住み続けたい、帰ってきたい」というところは十分理解しているが、I ターンなど他からの転入者をどうするかという部分がもう少し伝わる言葉を入れていただけたらありがたい。
- ・将来像の A 案の「応援したいまち」という言葉について、応援というのは町の中に住んでいる者からではなく、外から応援しているようなニュアンスに取れるので、B 案の「好きを広めたい」の方が良い。基本理念について、「守り抜く」という言葉は少し表現がきついのではないかな。
- ・将来像の「好きを広めたい」というワードに様々な意味を込められるという広い意味があると解釈すれば、良い表現になるのではないかな。
- ・国勢調査の人口推移を見ると、丹後地域は 1950 年頃が一番人口が多く、その後減少傾向にある。しかし、与謝野町は 1980 年（昭和 55 年）まで人口が横ばいで推移している。何か住みよさがあるのではないかな。

【B グループ意見】

- ・将来像については、個人的には B 案の方が良い。ただ、I ターンなど他から与謝野町に来たいと思っていただくために、A 案の中にも B 案の中にもそういったニュアンスが見えにくいので、もう 1 フレーズ付けても良いのかなと感じた。基本理念については、「変わらないために変わり続ける」という別案もお聞きした中で、B 案の方も良いと感じている。
- ・将来像については、自分が好きなことを追求できたり、広げていけたりする町になれば良いと思う。与謝野町の良さや子どもたちが感じられる形が良いという思いを込めて、B 案の方が良いと感じている。基本理念については、「変わらないために変わり続ける」というフレーズに心が動いた。
- ・将来像については、A 案の方が読みやすく分かりやすい。基本理念についても、A 案の「変化を力に」が良いと思う。今までできていたことがどうしてもできなくなる中で、仕方なく変化するのではなく、「変化を力に」という前向きな方向に持っていけるのではないかなと感じる。
- ・議論を進める中でやはり「好き」という部分は大切にしたいと思った。基本理念については、言葉が短い方がはっきりするが、「大切なもの」とは人によって違うため、ある程度抽象度を持たせることで、町民が語り合い理念が深まっていくのではないかなという意見をいただき、確かにそうだなと思う。

【C グループ】

- ・グループワークの中で、与謝野町に関わっている人はどんな人かと考えた。今住んでいる人も、離れてしまったけれど思いを寄せる人も含め、全員でこれからの与謝野町を作っていく、そういう構想になれば良いと思う。
- ・10 年後という未来を見据えた時、地元に住んでいなくても地元を愛している人たちが「応援したい」と思えるような町づくりが良いのではないかなと思うので、基本理念は A 案が良いと思う。
- ・将来像について、10 年後に中心となる現在の中高生の意見が反映されると良い。人口が減っていく中

で、仕事がないから帰れないという状況もある。子どもがいなくなる町にならないよう、この町を応援したいと思える形に持っていくのが良いと思う。基本理念については、シンプルな A 案の「共に動く」という方向が良い。

【C グループまとめ】

総じて将来像に関しては A 案、基本理念に関しても A 案が良いという結論。

論点は、「応援したい」か「好きを広めたい」という点。

町外に出たとしても町と繋がっていたいと思えることが大事であり、その視点で「応援」という言葉がしっくりくと皆様が納得された。

基本理念は、中学生にも覚えてもらいやすくシンプルで分かりやすい A 案が良いとまとまった。

【B グループまとめ】

将来像について、町民の方も新しく来た方も理解しやすいのは A 案という意見。一方で、住民自身が自発的に与謝野町の良さを分かってもらいたいという意味合いでは、B 案の「好きを広めたい」が力強いという意見もあった。

基本理念については、初めて見た人が「大切なもの」をどう捉えるかという懸念はあったが、抽象性を残しておく方が自分ごととして考えてもらえるのではないかと評価だった。「変わらないために変わる」という表現も力強く分かりやすいという意見もあった。

【A グループまとめ】

将来像については、定住促進や U ターンだけでなく、I ターンや J ターンなど外部から選んでもらえるような視点を含められると良いという意見が出た。「応援したいまち」と「好きを広めたいまち」については、住民が町の魅力をしっかり受け止め、外部に発信していくことで波及していくのではないかと議論があった。「好きを広げる」から「住んでみたい」という視点。

基本理念については、シンプルで分かりやすいのが良いという意見。B 案の「守り抜く」という表現が変化に対して制限をかけるイメージになるため、サブタイトルを付けるなら「大切なものを守り続けるために」の方が良いのではないかと意見があった。

【事務局】

審議会の中ではひとつに絞り切れないため、意見を持ち帰り、会長や副会長と相談しながら、最終的な答申案を決定していく流れを事務局から提案し、各委員も了承。

（２）その他

①今後のスケジュール

・ 5 月 26 日 → 中間答申

- ・ 6月 →パブリックコメントの実施
- ・ 6～8月 →各分野の施策を整理し、基本計画を審議会で議論
- ・ 8月 →最終答申を町長に提出
- ・ 12月 →議会上程・策定

6. 閉会（副会長あいさつ）

- ・ 坂中副会長より

以上